

「沼津市戸田地区過疎地域自立促進計画(案)」に関する意見募集の結果について

「沼津市戸田地区過疎地域自立促進計画(案)」について、パブリックコメントを実施したところ、数多くの市民の皆様から貴重なご意見・ご提言をいただきました。ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見・ご提言及び市の考え方、計画への反映については、下記のとおりとさせていただきます。

1. パブリックコメントの実施状況

- 実施期間 : 平成27年11月27日(金)～平成27年12月26日(土)
- 意見提出 : 33通(34人:男性23人、女性11人) ※うち1通は2人連署により提出
- 意見数 : 112件(計画への意見等102件、その他意見等10件)
- 提出方法 : 郵送:1通、持参:12通、FAX:18通、電子メール:2通

2. 提出された意見等及び市の考え方

番号	意見の内容(要約)	件数	意見に対する考え方	修正の有無
2 産業の振興				
ア 農業				
1	戸田の特産物であるタチバナは、産地や観光化対策の中心として普及を図っていくべきではないかと考え、一次加工施設等を整備することはできないか。	1	タチバナについては生産から加工、販売までの連携・一体化により新たな需要を創出する6次産業化を推進していきます。一次加工の場としては、「くるら戸田」の農産物加工体験室をご利用いただきたいと考えています。	無
2	若者の定住に欠かせないものが仕事であり、農林業はその土台となる業種であると考えます。	1	農地の流動化、集約化を行いながら、中核的農家や後継者の育成支援を図るとともに、担い手への支援措置等を集中化し、地域農業を守っていきます。	無
イ 林業				
3	公益的機能を発揮できる森林を整備していくために沼津市が考える具体案とはなにか。	1	森林の持つ水源涵養や山地災害防止などの公益的機能を重視し、保育、間伐などによる森林整備や造林事業による複層林化や混交林化、長伐期化などを推進していきます。	無
4	SGEC周知・推進のために、沼津市としてどのような取り組みを実施していくのか。	1	SGEC森林認証を取得している戸田森林組合と連携し、SGEC認証林産物材の安定供給の支援を行い、更なるSGEC推進策について県森林組合連合会に働きかけていきます。	無

番号	意見の内容(要約)	件数	意見に対する考え方	修正の有無
5	環境保全と雇用の確保のため計画的な間伐を推進してほしい。	1	間伐などによる森林整備に努め、担い手の育成確保、林業経営の安定化を図っていきます。	無
2 再掲	若者の定住に欠かせないものが仕事であり、農林業はその土台となる業種であると考えます。	(1)	森林関係団体の育成強化、森林施業の近代化等を支援し、担い手の育成確保、林業経営の安定化を図っていきます。	無
オ 観光業				
6	御浜岬公園には、松や楠などの樹木や四季折々の花々、戸田造船郷土資料博物館などがあり、観光客を楽しませている。御浜岬に多くの観光客を迎える環境整備が必要で散策路やトイレ、照明等の整備が必要である。	4	御浜岬修景事業において、魅力あふれる御浜岬を快適に散策できるよう、未舗装部分の遊歩道や照明灯の整備、トイレの改築を実施していきます。	無
7	高足ガニ、深海魚、井田のダイビング、御浜の海水浴など地域資源の活用方法を検討し、イベントや情報発信を行うことが効果的ではないか。	3	高足ガニや深海魚など、戸田ならではの数多くの魅力ある地域資源について、着地型観光商品の開発・提供やイベントの開催により情報発信に努めていきます。	無
8	旅館等への温泉の配管を行うなど、温泉の利活用を検討したらどうか。	2	既存の温泉施設について、地域住民の利便性を高めるとともに、誘客のための資源として活用を図っていきます。	無
9	棚田100選でもある素晴らしい北山の棚田を有効利用し、観光業の活性化に繋がることを推進してほしい。	1	北山の棚田などの地域資源を活かしながら、体験学習の要素を採り入れた「グリーンツーリズム」の振興を図っていきます。	無
10	もてなしの郷についてドッグラン施設、自然動物公園、観光客用ヘリポート施設等の利用について検討したらどうか。	1	農山村の活性化のために整備した「饗の里公園」については、戸田の地域資源として観光との連携を図りながら誘客に努めていきます。	無
11	外国語の観光案内板を設置したらどうか。	1	外国人や観光客の方にわかりやすい表現で案内看板を設置するよう努めており、新規に設置する場合や既存のものを改修する際には、外国語やピクトグラムを日本語と併せて表記していきます。	無
カ 企業の誘致				
12	対策の説明はあるが(3)計画の中に事業の記載がない。どのような内容で実施するのか。	1	企業の誘致については戸田地区に限らず沼津市内全域で取り組んでおり、市内への進出を希望する企業の業種やニーズに合わせて用地の情報提供を行い、誘致を推進していきます。	無
キ 起業の促進				
13	対策の説明はあるが(3)計画の中に事業の記載がない。どのような内容で実施するのか。	1	起業の促進についても、市内全域で「創業支援事業計画」を作成して取り組んでおり、産官金が連携して支援していきます。	無

番号	意見の内容(要約)	件数	意見に対する考え方	修正の有無
3 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進				
ア 幹線道路				
14	主要地方道沼津土肥線は富士山が綺麗に見える路線であるが、道路が狭く危険な箇所もあるため大型バスの通行が少ない。伊豆地域の観光客の周遊を考慮し、戸田ー土肥間及び戸田ー井田間の道路整備が必要であると思われる。	14	主要地方道沼津土肥線は、海沿いの富士山を眺めながら大型バスによるアクセスを可能とするため、道路管理者である静岡県が順次整備を進めており、今後も事業推進を県に要望し、道路交通の利便性の向上に努めていきます。	無
15	主要地方道戸田修善寺線の戸田三差路から中島バス停までの間は道幅が狭く、大型車との通行がやっとの状況である。道路の拡幅整備が必要と思われる。	7	主要地方道修善寺戸田線の整備については、一部区間において用地取得など地域の皆様の協力が必要であるため、地元と連携して道路管理者である静岡県に早期の事業推進を要望していきます。	無
16	県道2路線の道が暗くなり通行も大変危険なため、街路灯やガードレールの設置が必要である。	6	主要地方道沼津土肥線及び主要地方道修善寺戸田線については、道路管理者である静岡県に対して、道路交通の利便性・安全性の向上のための整備について要望していきます。	無
イ 市道				
17	市道小中島・門野線は、桜並木入り口から温泉スタンドまでは完了しているが、そこから下方への道路改良については中断している。道路幅が急に狭くなっているため、通行車両の擦れ違いが困難で大変危険でもあるため、道路整備が必要であると考えます。	1	交通量や周辺環境などの状況を踏まえ、地域産業の発展や市民生活の利便性向上など、整備効果が高い箇所から順次整備していきます。	無
18	景観保護のため電柱地中化はできないか。	1	電線の地中化は、景観・防災・交通量等を考慮し整備する路線を選定しているため、戸田地区については、現在の無電柱化計画には入っていません。	無
ウ 農林道				
19	林道舟山・上野線、林道空洞線を森林基幹道土肥戸田線に繋ぐことが出来れば利便性も良く、林業等の事業にも効果的と考えられる。また、災害等で沼津土肥線が通行止めとなった場合にも有効である。山林の有効利用のため事業の推進を要望する。	1	林業の近代化を進め効率化を図るうえで林道は不可欠なものであり、地域住民の生活道路としての機能も有することから、整備効果を検討し新設、改良などの整備を実施していきます。	無
オ 公共交通				
20	船便が廃止となり、沼津方面への移動が大変不便となった。特に高齢者には乗り換えや待ち時間が大変で、冬や雨天時には危険な時もある。戸田ー沼津間の増便と運賃の値下げはできないか。	16	地域の特性や実情に応じた公共交通を検討し、利便性の向上を図っていきます。	無

番号	意見の内容(要約)	件数	意見に対する考え方	修正の有無
21	高齢者等対策として戸田地区内を循環するバスを運行できないか。特に、活性化センター「くるら戸田」への交通手段が必要であり、マイクロバス等での運行が有効ではないか。	16	計画に「地域の特性や実情に応じた公共交通体系を検討する」とありますが、ご意見を踏まえ具体的な表現を追記することとしました。 (修正案) 地域の生活に不可欠である公共交通は、地域住民の高齢化や環境面への配慮からも必要性が高いものであるため、路線バスの路線の維持存続を図るとともに、 <u>地域内の移動手段についても</u> 地域の特性や実情に応じた公共交通の <u>あり方</u> を検討し、利便性の向上を促進していく。	有
22	内浦にバスターミナルをつくり、沼津駅と往復し、そこから順天堂病院、伊豆長岡駅、戸田などへマイクロバス等で運行するなど、新たなバス路線の再編を検討できないか。	2	計画に「地域の特性や実情に応じた公共交通体系を検討する」とありますが、ご意見を踏まえ具体的な表現を追記することとしました。 (修正案) 必要に応じて国、県の公的助成を受けて、生活交通の維持・確保に努め、収支改善に向けて効率化と利用促進を図るとともに、 <u>県の「南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画」に基づき、広域幹線バスや交通結節点の改善等の公共交通の再編を県、事業者と連携して進める。</u>	有
23	定期船を復活させて朝晩は沼津－戸田間直行、昼間は観光客の利用を考慮して三津－大瀬を経由させるなど、多様性をもった海上交通の運航ができないか。	1	旧戸田村当時から12年間にわたり運航の支援をしてきましたが、利用者が10年間で3分の1に減少するなど利用客の減少に歯止めがかからず、定期航路・不定期航路運行が廃止され、船舶が売却された現時点において、沼津－戸田間の定期便を運航できる事業者は存在しておらず、定期船の復活は望めないものと考えています。今後、新しい海上交通のあり方について調査研究していきます。	無
カ 地域間・国際間の連携・交流				
24	ロシアと戸田地区との国際交流を地域ぐるみで推進していくと対策に明記されていますが、(3)計画の中に事業の記載がありません。どのように推進していくのですか。	1	ロシアとの交流については、市民レベルの交流が非常に大切であり、地域住民の皆さんが主体となって積極的に取り組まれることを期待しています。市としては、地域で行われる交流活動等とおして、戸田地域の住民のみならず、多くの市民の間でロシアとの相互理解が進むよう、活動の紹介やPRに努めていきます。	無
4 生活環境の整備				
オ 防災・防犯施設等				
25	現在地域の夜間道路の灯りが暗いため、自動車等の通行及び歩行の際、大変危険な状況となっている。道路の安全な使用及び防災等対策して街路灯の設置を検討いただきたい。	4	防犯や交通安全対策については、地域の安全を守るため、防犯及び交通安全施設の維持、整備を進めていきます。	無

番号	意見の内容(要約)	件数	意見に対する考え方	修正の有無
26	戸田漁港の岸壁などは老朽化が進み、入浜地区にある灯台は傾斜していて危険箇所が多くある。漁業従事者も多くが高齢であるため施設の整備が必要である。また、津波等の災害対策のため防波堤の整備も要望する。	2	戸田漁港については、漁港管理者である静岡県に対し施設の延命化、耐震化などの整備を要望していきます。また、防潮堤についても、静岡県、市、地域住民、関係者などを交え、地域の実情に配慮し、合意形成を図りながら、整備を進めていきます。	無
6 医療の確保				
ア 診療施設				
27	戸田地区からでは救急搬送でも病院まで30分程度かかってしまう。もう少し戸田の診療所でいろいろな受診ができればと思う。	1	戸田診療所の機能の維持、充実に努めるとともに、近隣の医療施設との連携を密にするなどし、医療体制の充実に努めていきます。	無
7 教育の振興				
ア 学校教育関連施設				
28	小学校も中学校も生徒数が減少しており、学習面や人格形成、施設の有効利用という観点からも小中一貫教育の推進が必要と考える。	5	他学年とのかかわりによる高い教育効果や効率のよい施設の活用を期待して、小中一貫教育の検討を進めていきます。	無
イ 集会施設、体育施設等				
29	戸田B&G海洋センターのテニスコートの傷みが激しいので改修できないか。また、フットサルができるようにすれば、コートの利用客が増加すると思われる。	2	戸田B&G海洋センターは、健康増進やスポーツの拠点として施設整備を行っており、健康で豊かな生活が送れるよう、スポーツ環境の充実に努めていきます。	無
8 地域文化の振興等				
ア 地域文化振興施設				
30	戸田造船郷土資料館が津波浸水区域内にあるので移転が必要である。	1	戸田造船郷土資料博物館・駿河湾深海生物館については、公共施設マネジメント計画に基づき、移転など施設のあり方や整備について検討していきます。	無
31	旧戸田荘が廃墟のままでは安全や防犯上、また観光地としてのイメージ的にも良くないと思います。戸田造船郷土資料館等の移転など有効活用を検討してください。	1	旧戸田荘については、沼津市全域の遊休財産の利活用の観点から、公民連携の手法も視野に入れ、有効活用について検討していきます。	無

番号	意見の内容(要約)	件数	意見に対する考え方	修正の有無
9 集落の整備				
ウ 移住定住促進				
32	最近、「イチから住～前略、移住しました」という番組で、芸能人の戸田での移住生活が番組化された。マスコミや芸能人を活用した移住促進は有効であるため積極的に取り入れていくべきである。また、県やNPO法人等と連携し移住を促進すべきと考える。	2	平成27年9月から3カ月間、「イチから住～前略、移住しました～」が放送されたことで、移住相談が増加したことから、マスメディアの影響力の大きさを実感しています。テレビを始めとするマスメディア等を利用し、地域外へのPR活動を推進するとともに、県や他市町と連携しながら、定住促進を図っていきます。	無
33	集団お見合いや婚活番組がテレビで放映されているが、開催地の募集も行われている。行政が番組化するように働きかけはできないか。または、沼津にはよしもと劇場があり芸人がいるので婚活イベントを企画できないか。	1	昨年度より、沼津ラクーンよしもと劇場にて、よしもと芸人が講師を務める婚活イベントを実施しています。今後も、テレビを始めとするマスメディアや沼津ラクーンよしもと劇場の芸人の積極的な活用に努めていきます。	無
34	人口増加策の一番は、戸田を知る元の住人が戻ってくることではないか。戸田地区の学校を卒業した学生がなぜ離れていったか、地区の問題が何かなど、動向を調査する。	1	戸田地区の人口減少の原因と対策の検討に当たっては、地域住民の力添えが必要不可欠であると考えており、今後も、地域住民との協働により移住定住を促進していきます。	無